



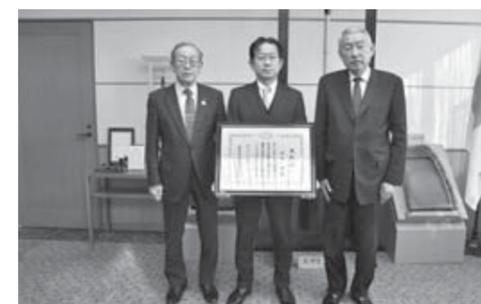
(生涯学習課)

ヨシタケシンスケさんのシリーズは子ども達が大好きで、毎日どれかを読んでいます。この作品は男の子が自分のいろんな癖の理由をつけていくのですが、理由を考えつく発想力がすごくて読んでいて楽しかったです。

原田 由美(母)

皆さんにもおすすめしたい「くまどく本」、今月は、熊野第四小学校からです。原田 悠杏(2年1組) 男の子のいろんなくせに理由があつて面白いです。びんぼうゆすりをする理由がとくに面白かったです。お母さんのくせの理由が便利でした。

「この本、よかった！」(79) 「りゆうがあります」 ヨシタケ シンスケ 作・絵 (ブロンズ新社)



(学校教育課)

左から林教育長、米谷校長、三村町長

令和元年度教育者文部科学大臣表彰の受賞 学校教育の振興に關し特に顕著な功績のあつた教育者として、熊野町立熊野中学校長の米谷 剛 先生が、文部科学大臣から表彰されました。

第37回全国都市緑化ひろしまフェア 「ひろしま はなのわ 2020」

広島県一帯で、花や緑等の地域資源を活用した、第37回全国都市緑化ひろしまフェア「ひろしま はなのわ 2020」が開催されます。

●メイン会場

中央公園(旧広島市民球場跡地・広島市中区基町) ▷期間・3月19日(木)～5月24日(日) (5月25日(月)～11月23日(月・祝))は連携イベントなどを開催

●スポットイベント会場

県内23市町でスポットイベントを開催しています。熊野町では「はなのわ&キッズフェスタ in 深原公園」を開催します。

▷期間・4月11日(土)～26日(日)16日間

※詳細は4月号でお知らせします。

(都市整備課)



おうちに眠っている鯉のぼりの 寄付を募っています。

4月11日(土)から26日(日)まで、第37回全国都市緑化ひろしまフェア「ひろしま はなのわ 2020」にて、深原地区公園の空にたくさんの鯉のぼりを泳がせます。不要な鯉のぼりがありましたら、寄付をお願いします。詳しくは東部地域健康センターまでお問い合わせください。

☎熊野町東部地域健康センター

☎820-5580

(民生課)



第33回熊野高校を育てる会大会

熊野高等学校

この地に (286)



12月7日(土)、第33回「熊野高校を育てる会大会」を開催しました。この度の講師は、小林誠二氏。「未来を担う君たちへ」と題し、御講演をいただきました。県民の誰もが知る広島東洋カープの元投手であり、引退後も野球解説、講演などで活躍されています。当日は、本校吹奏楽部がカープの応援歌を奏でる中、堂々と入場されました。現役時代の華々しい活躍をスクリーンで視聴し、その後は自らの体験をもとに、どう思い、どう生きてきたのか、人生の歩みについて熱く語られました。「自分で考えて、自分でやって掴んでいく」「なぜ失敗したのかを考え、同じパターンで同じ失敗をしない」「結果が出たときの喜びは、大きくても小さくても経験すべき」「コーチ(指導者)として大切にしたのは、人間形成」など、生徒・教職員にとって教訓となる話がいくつもありました。また講演の後、質問コーナーも設けられ、生徒が次々に手を挙げ、現在のカープ情報や、野球とは無関係の身の上相談まで飛び出す中、笑いを交えながら気軽に答えられ、和やかな雰囲気になりました。人生経験で培われた、人としての豊かさ、度量の大きさを感じたひと時となりました。



「講演会の様子」

☎熊野高等学校 ☎854-4155

新春熊野スター駅伝大会

熊野中学校

第33回大会に熊野中学校からも多くの生徒が参加しました。また、一般の部に、選手として本校職員も2人参加しました。

みなさんもお存じかもしれませんが、スター駅伝とは、星の記号を書くとき、一筆書きでかけます。それと同じように、同じコースを参加選手は周り、襷をつないでいくものです。

中学生の部では近隣の中学校からも多く参加していましたが、その中で、がん熊陸上部が男女とも優勝することができました。試合終了後の本校監督の言葉は「本番は1月25日の呉賀茂新人駅伝大会です。」と次の目標をしっかりと生徒にもたせていました。

駅伝の盛んな熊野町では、2月9日にも熊野駅伝がありました。こうした取組が強い選手を育てているのだと思います。



(学校教育課)

「英語大好きっ子」を目指して

熊野第一小学校

熊野第一小学校は、平成30・31年度広島県教育委員会「小学校外国語パワーアップ事業」の指定校として、「やり取り」を楽しむ児童の育成を目指し、日々研究・実践に取り組んでいます。児童達はALTのマリア先生と一緒に歌やゲームを楽しんだり、今までに学んだ表現を活用して友達と英語で会話をしたりと、意欲的に活動しています。5年生と6年生は、昨年10月に平和公園で外国の人にインタビューをする、という活動を行いました。ほとんどの児童が積極的に外国の人へ話しかけに行っており、「英語で話すと楽しい。」「もっと話したい。」という声をたくさん聞くことができました。今後も「間違えても大丈夫」という雰囲気作りをしたり、「コミュニケーションをとるって楽しい。」と思える活動を多く取り入れたり、実際に外国の人と話す機会を設けたりして楽しい授業を作っていきたいと思えます。「英語が大好き!」と話す児童がもっともっと増えますように。



(学校教育課)